

14.7.24  
第954号

御援助を乞ふ

我々明治電気争議團は頑迷なる資力家と相  
手に炎天下に快死的奮闘を續けて居ます。が、  
一方大崎分署は一向會社側に入智恵心して此の  
争議の解決に益々困難を加へつゝ有るのであ  
ります。

會社側では官憲の威を借りて我々の公認  
なる要求を無視し一向公文渉を申す居  
るので有ります。

此處に於ては我々を導き導き持入戦に持たせて  
有ります。争議團の処治者は其の極に達し  
悲惨を極めて居るのであります。

此處に於て我々の争議部は一般有志諸君の  
援助を仰ぎ度く就ては労働者解放の  
運動に一助を與へられ之事一切に希相する  
のであります。

大正十四年七月二十二日

大日本  
機械技工組合  
明治電気争議  
組合之印

冬後